

日中の強い日差しの中にも、朝晩は心地よい涼風が吹き、沖縄にもようやく秋の気配が感じられるようになりました。子どもたちは心地よい風を感じながら、毎日元気に園内を駆け回っています。今月は「食欲の秋」にちなみ、食べる楽しさや秋の味覚について子どもたちと学んでいきたいと思っています。

秋になると町はハロウインの装飾でいっぱい。

でも、いつから何のために始まったお祭りなの？ 仮装とお菓子のつながりとは…？

ハロウィン(毎年10月31日)とは

ハロウィンは、秋の収穫を感謝するお祭りの日とされています。

いつ何のためにどうしてできたのか

ずっと昔(今から2000年くらい前)から、古代ヨーロッパのケルト民では秋の収穫を祝うと同時に悪霊を追い払うお祭りがありました。このお祭りがキリスト教に伝わり、今ではアメリカでクリスマスの次に大きなイベントとして行われています。

お菓子をもらって歩くのは、お祭り用の食料をもらって歩く様子を真似したもので、中世のなごりだそうです。

どうしてカボチャを置くの



お化けカボチャは、カボチャをくりぬいて目や口の穴を開け、中にろうそくを入れて照らしたものです。

悪い霊を怖がらせて追い払うために恐い顔のお化けカボチャを作り、ハロウインの夜に家の外に置くのだそうです。

過ごし方①仮装しよう

アメリカでは、子どもたちがそれぞれにおばけ、魔女、コウモリ、黒ねこ、ゴブリン、ゾンビなどの民間で伝承されるものや、ドラキュラやフランケンシュタインなどに仮装して楽しむそう。

身近にあるものを使って、魔女の帽子や黒猫のお面、おばけの仮装などを楽しんでみよう♪

過ごし方②お菓子巡りに行こう

アメリカでは、「トリック オア トリート」(おかしをくれないとイタズラしちゃうぞ!)と言って、仮装した子どもたちがかごなどをもち、色々な家を回るのだそう。ぐし保育園でも、園周辺を回ったりするよ!

他にも、30日の給食はハロウィン仕様なので、ぜひお楽しみに!

食育の様子

16日にあひる組うさぎ組で野菜スタンプ。

17日にりす組ぱんだ組きりん組で3色食品群のお話しをしました。

